

平成 25 年 12 月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成 25 年 12 月 17 日 (火) 午後 3 時 40 分～午後 5 時 00 分

2. 場 所 市立公民館・中央地区公民館 3 階 講座室 4

3. 出席者

委員長 中野 俊勝 委員長職務代理者 川岸 靖代 委員 谷口 馨

4. 事務局出席者

教育長職務代理者 教育総務部長 板東 正人

学校教育部長 小池 俊一 生涯学習部長 植原 和彦

理事兼学校管理課長 門林 啓之介 総務課長 藤原 芳治

産業高校学務課長 直 清司 学校教育課長 寺田 博

人権教育課長 篠本 治久 生涯学習課長 佐藤 正

スポーツ振興課長 元廣 秀晴 郷土文化室長 南 美恵子

図書館長 森 正之 総務課参事 大西 謙次

開会 午後 3 時 40 分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に川岸委員長職務代理者を指名した。
傍聴人 0 名。

報告第 69 号 第 20 回産業教育フェアの開催について

報告第 70 号 第 67 回岸和田市民駅伝競走大会の実施について

○中野委員長

報告第 69 号及び報告第 70 号については、書面での報告です。ご質問、ご意見等ございましたら、ご返信ください。

○直産業高校学務課長

報告第 69 号の第 20 回産業教育フェアの開催については、産業高等学校デザインシステム科の生徒が、学習成果の集大成を作品として表現し、展示発表することで、今後のデザインへの新たな目標を発見するとともに、専門教育への理解を深めることを目的としています。平成 26 年 1 月 17 日 (金) から 19 日 (日) までの 3 日間、文化会館 (マドカホール) 展示場において、装飾、シルクスクリーン印刷、染物、木製品、陶芸作品、デザインパネル、映像作品など約 200 点を展示するとともに、1 月 19 日 (日) にはマドカホール大ホールにおいて、生徒自作デザイン衣装によるファッションショーを開催します。

○中野委員長

日ごろの学習成果を、多くの人に見てもらい評価してもらおう取組みは、生徒にとって自信に繋がるものであると考えますので、様々なコンクールに積極的に応募するなどし、学習成果を発表してもらいたいと思っています。

○谷口委員

生徒自作のデザイン衣装によるファッションショーは、素晴らしいという話をお聞きしたのですが、広報紙に掲載するだけでなく、テレビ岸和田やマスコミにも情報提供していくのもいいのかなと思います。

○元廣スポーツ振興課長

報告第 70 号の第 67 回岸和田市民駅伝競走大会の実施については、平成 26 年 1 月 19 日（日）に、葛城運動広場～稲葉・山直中周回コースを 6 区に分けての市民駅伝競走を実施するもので、今回は 57 チームの参加予定となっています。

○中野委員長

報告は以上です。次に議案の審議に移ります。

議案第 61 号 岸和田市立公民館、青少年会館等の設置、管理等に関する条例施行規則の一部改正について

○中野委員長

議案第 61 号 岸和田市立公民館、青少年会館等の設置、管理等に関する条例施行規則の一部改正について、事務局から説明をお願いします。

○佐藤生涯学習課長

本件は、本市が設置する公民館、青少年会館等のうち、岸和田市立青年の家を廃止することに伴い、青少年会館等の「等」が青年の家を示していることから、題名を「岸和田市立公民館及び青少年会館の設置、管理等に関する条例施行規則」に改めるとともに公民館等使用許可申請書の様式を改めるなど、関係する規程の整備を図るものです。施行期日は、公布の日（平成 25 年 12 月 17 日）からとし、現行規則により作成されている使用許可申請書は、当分の間、使用することができる旨の経過措置を設けています。

○中野委員長

説明が終わりました。ご意見、ご質問等ございませんか。

○中野委員長

特にないようですので、原案のとおり承認します。

議案第 62 号 平成 26 年度当初予算要求について

○中野委員長

議案第 62 号 平成 26 年度当初予算要求について、事務局から説明をお願いします。

(藤原総務課長より平成 26 年度当初予算要求額(歳入、歳出)について概略を説明後、各担当課長より平成 25 年度当初予算額との主な増減の理由等について説明。)

○中野委員長

説明が終わりました。内容等について、ご質問、ご意見等ございませんか。

○谷口委員

読書活動事業に関しては、学校訪問において、図書館コーディネーターの役割が非常に大切であると感じましたので、中学校にも配置できるよう予算増額措置されることを望みます。

外国語教育事業に関してですが、「使える英語プロジェクト」に関する大阪府の補助金が終了したとのことですが、補助金が無くなったので事業も終了させるのか、これまでに培ったノウハウを活かして独自に事業を展開していくのか教えてください。

○寺田学校教育課長

「使える英語プロジェクト」は、大阪府における 3 年間の補助事業で、今年度で終了となりますが、各校での取組み・研究成果を他の学校でも活用していきたいと考えています。

○中野委員長

学校施設整備予算など、前年度を大きく上回る予算要求になっています。これは仕事に対する意欲の表れであると感じますが、歳入予算については、前年度並みの要求であるので、市の財政状況が厳しいなか、大変なご苦勞であると感じます。

○門林学校管理課長

施設整備に関しては、できるだけ補助金等を活用しながら事業実施を図りたいのですが、なかには市の単独事業として実施しなければならないものもございます。今後も国の補正予算等を注視しながら、財政上有利な補助金等に乗り換えるなど、積極的に財源確保に努めてまいります。

○中野委員長

学力向上については、本市の課題の一つであると考えていますが、「自学自習力育成事業」「学力向上支援事業」「外国語活動事業」については、前年度並みの予算要求となっているのが気になるのですが、どうでしょうか。

○寺田学校教育課長

学力向上支援事業につきましては、今年度、大幅な予算増加措置していただいた経過があります。来年度につきましては、それぞれの事業とも、しっかりと今年度の取組みを継続していきたいと考えております。

○川岸委員長職務代理者

「生徒指導サポート事業」について、事業内容を教えてください。

○寺田学校教育課長

青少年指導の経験者や青少年健全育成に携わった経験のある教職員ではない成人をサポートとして選任し、基本的には生活指導に関する補助や、ひきこもりなど不登校で悩んでいる

家庭に訪問するなどし、教員ではない立場で生徒、保護者を支援していくものです。

○中野委員長

他にないようですので、原案のとおり承認します。

これもちまして、12月の定例教育委員会会議を閉会します。

閉会 午後5時00分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

委員長

署名委員